

クラス1弁の強度計算書の説明分類

TK-1-380 改0  
2018年4月16日

設計・建設規格 各規格番号と強度計算書との対応			説明グループ	クラス1弁																		
設計・建設規格 規格番号	強度計算書の 計算式 (章節番号)	備考	系統名	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	残留熱 除去系	高圧炉心 スプレイ系	高圧炉心 スプレイ系	低圧炉心 スプレイ系	低圧炉心 スプレイ系	原子炉 隔離時冷却 系	原子炉 隔離時冷却 系		
			弁名称	E12-F008	E12-F041A	E12-F041B	E12-F041C	E12-F050A	E12-F050B	E12-F053A	E12-F053B	E12-F042A	E12-F042B	E12-F042C	E22-F004	E22-F005	E21-F005	E21-F006	E51-F064	E51-F065		
(クラス1弁)			既設/新 設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設		
			改造	無	有	有	有	有	有	有	有	無	無	無	無	有	有	有	有	有	有	
			DBクラス	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1
			SAクラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			型式	止め弁 仕切弁	逆止め弁	逆止め弁	逆止め弁	逆止め弁	逆止め弁	止め弁 玉形弁	止め弁 玉形弁	止め弁 仕切弁	止め弁 仕切弁	止め弁 仕切弁	止め弁 仕切弁	逆止め弁	止め弁 仕切弁	逆止め弁	止め弁 仕切弁	逆止め弁		
弁の 応力 評価	VVB-3320	2.1.1 (A)	一次応力(弁箱)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	VVB-3330	2.1.2 (B)	配管反力による応力(弁箱)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	VVB-3340	2.1.3 (C)	一次+二次応力(弁箱)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	VVB-3350	2.1.4 (D)	一次局部応力(弁箱)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	VVB-3360	2.1.5 (E)	起動時及び停止時の繰返しピーク応力強さ(弁箱)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	VVB-3370	2.1.6 (F)	繰返しピーク応力強さ(弁箱)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	VVB-3380	2.2 (G)	弁体の一次応力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	VVB-3390	2.3 (H)	フランジの強度計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	VVB-3390	2.3 (I)	弁箱と弁ふたのフランジの応力解析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
VVB-3390	2.3 (J)	フランジボルトの応力解析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
の耐 設計 部	VVB-3210	2.4 (K)	弁箱又は弁ふたの最小厚さの計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	VVB-3220	2.6 (L)	管台の最小厚さの計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
弁の 形状	VVB-3410	2.5 (M)	弁箱のネック部内径と弁入口流路内径の比	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	VVB-3411(1)	2.5 (N)	弁箱のネック部と流路部が交わる部分の外表面の丸みの半径	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	VVB-3411(2)	2.5 (O)	弁箱の弁座挿入部のすみの丸みの半径	○	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	○	○	○	○	-※	○	-※	○	-※	